

樹脂製品の「一貫生産と品質管理で海外に負けない実力

納期相談
コスト相談
量産対応



クリーンで省人化も進んでいる樹脂成形工場

業務内容
パナソニック(株)のななめドラム式洗濯機フタを100%生産

家電や自動車、パチンコ台などの部品に使われる精密プラスチック成形品を製造している。部品の金型も設計するほか、樹脂成形から組立、プラスチック表面の金属蒸着加工、塗装、印刷まで一貫して手がける。家電の生産は多くが海外に移り、同社もかつて海外生産を勧められたが、主に高機能家電用のプラスチック部品にターゲットを絞り、国内生産を貫いている。

例えばパナソニック(株)のななめドラム式洗濯機のフタでは、アッセンブリ生産の100%を担っている。国内でないと製造できない品質、中国に負けない生産コストを実現し、競争力を維持している。

強み
品質管理を徹底し、24時間稼働で不良数はほぼゼロ

射出成形工場は準クリーンルームで、樹脂取り出しロボットやAGV(無人搬送車)を駆使して省人化し、土日を除いて24時間稼働する。自動倉庫での緻密な製品管理、全数検査と製造・出荷前工程の抜き取り検査、部門間の工程管理共有化により、品質管理も徹底している。このため不良数はほぼゼロを維持してきた。

パナソニック(株)や三菱電機(株)などから信頼を勝ち取ってきたため、商社からはほかの優良大手も紹介され、取引先を増やしてきた。国内生産で生き残る覚悟を決めているので、国内工場の生産・開発技術には、惜しみなく投資している。

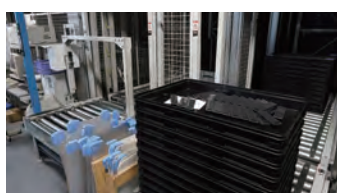
品質管理
「新5S」で従業員を意識改革

平成元年に始めたQC(品質管理)サークル

活動を契機に、「新5S」を絶え間なく続けている。新5Sとは「しつけ」を最優先し、「整理・整頓・清掃・清潔」も改善する取り組み。かつて顧客だった三洋電機(株)(現パナソニック(株))の元品質部長、長谷川祐三氏が提唱した新5Sを生かし、成果を上げている。小野田邦彦社長は「長谷川氏の一番弟子は『泉州工業』と自負する。納品会社に対しても礼儀正しく接するしつけから始める新5Sにより、不良品により顧客に迷惑をかけない意識が従業員に根付き、高いモチベーションにもなっている。

今後の展望
食品関連会社から新たに受注 医療関連も進行中

準クリーンルームでの高度な生産技術も生かし、食品・医療関連のプラスチック部品・用品にも参入を目指す。すでに食品関連会社から新たな受注を得て、生産に取り組んでいる。食品メーカーは食の安全から協力会社に対して厳しい監査を実施するが、これもクリアした。医療関連についてはこれからで、水面下で事業化を進めている。小野田社長は「これまで何十年も電機メーカーを中心に取引してきたので、新たな分野への挑戦は難しい。しかし、海外製品が多い医療現場では使いやすい国産を求めるニーズも強く、チャンスはある」と意欲を示す。



製品管理も自動倉庫で省人化



出荷前にも製品を厳しく検査

当社の歴史



プラスチック成形加工一筋に、海外に技術を流出させず、一貫して国内で競争力を高めてきました。平成6年に静岡工場を建設し、平成13年に本社工場を大阪府和泉市和気町から同市テクノステージに移転・拡張しました。「モノをつくる前に、人をつくる」をモットーに、「新5S」にも取り組んできました。

代表取締役 小野田 邦彦さん

<http://www.senshuu.co.jp/>

主な事業内容

精密プラスチック成形品の製造および二次加工、組立

主な取引先(納入先)

家電メーカー、自動車部品メーカー、アミューズメント関連

- 住所 〒594-1144 和泉市 テクノステージ3-4-8
- TEL 0725-51-3033
- FAX 0725-51-3130
- 創業 昭和27年9月
- 設立 昭和30年5月
- 資本金 9,900万円
- 従業員 123名

ISO 9001
ISO 14001
大阪28